

「本尊さま」は、お寺の本堂やご家庭の仏壇において、信仰の中心として最も大切な仏様です。

曹洞宗の檀信徒のご家庭の仏壇では、曹洞宗の本尊さまであるお釈迦さまを中央にお祀りし、向かって右側に大本山永平寺をお開きになられた道元禪師、向かって左側に大本山總持寺をお開きになられた瑩山禪師をお祀りいたします。

しかし、お寺の「本尊さま」にはさまざまな違いが見受けられます。

例えば、本尊さまがお釈迦さまで、その両脇には、仏教の大切な教えの“智慧”を司る文殊菩薩と、“慈悲”を司る普賢菩薩が祀られていることもあります。これは、お釈迦さまが、昔から今日までさらには永遠の未来までも人々に教えを伝えている姿、つまり、教えとしてのお釈迦さまをお祀りしている形式です。

また、本尊さまがお釈迦さまで、その両脇にお仕えするのが、お釈迦さまの弟子の摩訶迦葉尊者と阿難尊者であることもあります。これは、お釈迦さまが人間として修行をし、たくさんの弟子を育てて教えを伝えられた姿、つまり、実在された人間としてのお釈迦さまをお祀りする形式です。

さらには、曹洞宗のお寺であっても、本尊さまがお釈迦さまではないこともあります。例えば、さまざまな姿で現れて、世の人びとを救ってくださる観音さま（観世音菩薩）や、お釈迦さまからこの世に生きる人びとを救うことを託されたお地蔵さま（地蔵菩薩）、あるいは、大日如来や薬師如来ということもあり、まさにさまざまな本尊さまが安置されていることが見受けられます。

これは、それぞれのお寺の歴史的経緯によると考えられます。昔は別の宗派だったお寺が曹洞宗に改められた場合もあるでしょうし、あるいは、昔から地域でとても大切にされてきた仏様が、お寺の本尊さまとして迎えられたということも考えられます。

お寺は、古来より多くの人びとの支えによって守られて来ました。それぞれのお寺の由来や歴史を学びながら、本尊さまが見つめてきた時の流れを静かに感じると共に、お釈迦さま、道元禪師、瑩山禪師の教えに思いを馳せたいものです。